

神戸市立医療センター中央市民病院

レジデント教育プログラム

平成 28 年 4 月	策定
平成 29 年 4 月	改訂
平成 30 年 3 月	改訂
令和 2 年 3 月	改訂
令和 3 年 3 月	改訂
令和 5 年 4 月	改訂

I 教育理念

1. リハビリテーションレジデントプログラムの理念は、若手療法士に良好な臨床研修の場を提供することにある。
2. リハビリテーションレジデントプログラムの教育目標は、急性期医療において多くの臨床経験を積み、リスク管理およびクリニカルリーズニングのスキルを高めるとともに、効果的かつ効率的な理学療法を自立して実施する能力を涵養することである。

II 研修目標

リハビリテーションレジデントの到達目標は下記の6つである。

- (1) 社会から求められる、人格に優れた理学療法士となること。
- (2) 患者側に立って思考・行動する姿勢を持つこと。
- (3) 他の医療スタッフと協調しチーム医療を円滑に遂行できること。
- (4) 常に医療の安全に配慮できること。
- (5) 幅広いプライマリケアの診療能力（態度・技能・知識）を修得すること。
- (6) 問題を発見・解決するとともに、その成果を社会に発信することができる。

これらの目標を達成するために病院の各部署と連携し、リハビリテーション部門全体として教育にとりくみ、メンターは自覚と責任をもってリハビリテーションレジデントを指導し、知識・技術レベルに応じた責任を課す。

III 行動目標： 医療人として必要な基本姿勢・態度

(1) 患者－リハビリテーションスタッフ間の人間関係

患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立するために、

- 1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- 2) 医療スタッフ、患者・家族がともに納得できるリハビリテーション計画を立案し実行できる。
- 3) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。

(2) チーム医療

医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協調するために、

- 1) 上肢および同僚、他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。
- 3) 同僚及び後輩へ教育的配慮ができる。
- 4) 患者の転入、転出にあたり情報を交換できる。
- 5) 関係機関や諸団体の担当者とコミュニケーションがとれる。

(3) 問題対応能力

患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身につけるために、

- 1) 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる。
(EBM =Evidence Based Medicine の実践ができる)
- 2) 自己評価および第三者による評価をふまえた問題対応能力の改善ができる。

- 3) 臨床研究の意義を理解し、研究や学会活動に関心を持つ。
- 4) 自己管理能力を身につけ、生涯にわたり基本的診療能力の向上に努める。

(4) 安全管理 患者ならびに医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身につけ危機管理に参画するために、

- 1) 医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる。
- 2) 医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる。
- 3) 院内感染対策（Standard Precautions を含む）を理解し、実施できる。

(5) 症例呈示

チーム医療の実践と自己の臨床能力向上に不可欠な、症例提示と意見交換を行うために、

- 1) 症例呈示と討論ができる。
- 2) 臨床症例に関するカンファレンスや学術集会に参加する。

(6) 診療計画

保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ、診療計画を作成し、評価するために、

- 1) 診療計画（診断、治療、患者・家族への説明を含む）の作成に参画できる。
- 2) 診療ガイドラインやクリニカルパスを理解し活用できる。
- 3) QOL（Quality of Life）を考慮にいたった総合的な管理計画（リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む）へ参画する。

(7) 医療の社会性

医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献するために、

- 1) 保健医療法規・制度を理解し、適切に行動できる。
- 2) 医療保険、公費負担医療を理解し、適切に診療できる。
- 3) 医の倫理、生命倫理について理解し、適切に行動できる。

IV プログラム責任者

プログラム責任者： 岩田健太郎（リハビリテーション技術部 技師長代行）

副プログラム責任者： 下雅意崇亨（リハビリテーション技術部 主査）

西原 浩真（リハビリテーション技術部 主任）

篠田 琢（リハビリテーション技術部 教育担当）

V 臨床研修協力施設：

① 西記念ポートアイランドリハビリテーション病院（回復期）

研修実施責任者：上野 勝弘

研修指導者：上野 勝弘

② ポートアイランド病院（回復期）

研修実施責任者：中道 哲朗

研修指導者：中道 哲朗

⑤ 神戸リハビリテーション病院（回復期）

研修実施責任者：沖山 努

研修指導者：沖山 努

⑥ リハビリ訪問看護ステーション 菫（生活期）

研修実施責任者：木澤 清行

研修指導者：木澤 清行

VI 研修期間

2年間（ただし大学院教育を受けるものは1年延長可能）

到達目標・人間関係能力・リスク管理能力・リハビリ実施能力・教育・研究能力について、目標を定め、それぞれについて半期ごとに自己評価、指導者（メンター）評価を実施する。

到達レベル	1 年目		2 年目	
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
到達目標	①医療職として必要な基本姿勢と態度について理解し、実践する。 ②指導者の付き添いのもと、一般病棟の患者の治療を実施できる。 ③脳血管疾患・運動器疾患における基本的知識・技術を理解する。	①1人で一般病棟の患者の治療を実施できる。 ②常に医療職として必要な基本姿勢と態度を自覚した行動がとれる。 ③呼吸器疾患・循環器疾患・がん疾患における基本的知識・技術を理解する。	①後輩への教育に参加できる。 ②指導者の付き添いのもと、重症部門の患者の治療を実施できる。 ③各疾患の知識・技術を臨床に応用できる。 ④チーム医療を理解し、役割を果たすことができる。	①1人で重症部門の患者の治療を実施できる。 ②合併症のある重症患者に対し、各疾患の知識・技術を臨床に応用できる。 ③チーム内の信頼関係を保ち調整できる。
人間関係能力	①社会人としてのマナーを習得する。 ②指導者などに必要なことを報告・連絡・相談ができる。 ③同僚や他職種の人たちと適切にコミュニケーションがとれる。	①医療人としての基本的な対応ができる。 ②指導者などに的確な報告や情報提供ができる。 ③医師・看護師、患者や家族と適切にコミュニケーションがとれる。	①患者・家族に対し、医療チームの一員としての対応法を理解し、対応できる。 ②後輩に指導的に関わることができる。 ③周囲に配慮し、適切な援助を行うことができる。	①重症部門の患者・家族に対し、医療チームの一員として対応できる。
リスク管理能力	①リハビリテーションにおける安全対策を理解することができる。 ②一般病棟患者の危険を予測し、指導者の下、安全対策を立てることができる。	①リハビリテーションにおける安全対策を実践できる。 ②一般病棟の患者の危険を予測し、1人で安全対策を立てることができる。	①重症部門の患者の危険を予測し、指導者の下、安全対策を立てることができる。	①重症部門の患者の危険を予測し、1人で安全対策を立てることができる。

リハビリ実践能力	①マニュアルを活用し、助言を受けながら、正確に業務を遂行できる。 ②指導者の下、一般病棟の患者の治療を実施できる。 ③カンファレンス等で積極的に質問ができる。	①1人で正確に業務を遂行できる。 ②1人で一般病棟の患者の治療を実施できる。 ③指導者の下、カンファレンス等で症例発表ができる。	①指導者の下、重症部門の患者の治療を実施できる。 ②1人でカンファレンス等で症例発表ができる。	①1人で重症部門の患者の治療を実施できる。 ②カンファレンス等で積極的に自分の意見を言うことができる。
教育・研究能力	①リハビリにおける基礎知識を理解する。 ②院内の勉強会に積極的に参加し、自己学習できる。 ③自分の担当患者についてまとめ、症例報告を行うことができる。	①各疾患の基礎知識を理解する。 ②院外の勉強会・学会に積極的に参加し、自己学習できる。 ③新人発表を行える。	①後輩への教育に参加できる。 ②自己の課題を発見し、資源を活用し、課題に積極的に取り組むことができる。	①後輩の研究・症例報告に対するアドバイスをを行うことができる。 ②自己の課題に対して学会発表を行える。

研修予定表（例）

1 年目	4 月	研修医・薬剤部・リハビリテーション技術部 合同オリエンテーション 看護・リハビリテーション技術部 1 年目合同研修
	5 月	シャドーイング 患者担当（診療業務の開始）
	6 月	
	7 月	看護研修
	8 月	
	9 月	回復期病院研修（神戸リハビリテーション病院）
	10 月	
	11 月	回復期病院研修（西記念ポートアイランドリハビリテーション病院）
	12 月	
	1 月	回復期病院研修（ポートアイランド病院）
	2 月	
	3 月	
2 年目	4 月	後輩指導への参加
	5 月	心臓リハビリテーション研修の開始
	6 月	在宅訪問リハビリテーション研修（月 1 回程度）（リハビリ訪問看護ステーション 蓄）
	7 月	
	8 月	
	9 月	回復期病院研修（神戸リハビリテーション病院）
	10 月	救急見学
	11 月	回復期病院研修（西記念ポートアイランドリハビリテーション病院）
	12 月	
	1 月	回復期病院研修（ポートアイランド病院）
	2 月	
	3 月	

8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		
月/日		集合																				
4/1(火)	講堂 8:45	辞令交付 院長訓話		オリエンテー ションについて 西岡センター長・地 名医師		庶務手続き 服務規程		救急業務 災害医療 有吉部長(30) 【薬剤・リハ】		採血	昼食	医療事故防止 富井安全管理室長(25) 医療廃棄物処理 坂本看護師(30) 【薬剤・リハ】		医の倫理 院長(60) 【薬剤・リハ】		麻薬施用 薬剤師(30) 地域医療連携 地域医療推進課(30) 【薬剤・リハ】		フリー		18:30～ 歓迎会 (カトリック神戸神 階)		
		(特別会議室)		(地下会議室A)				(検査室)				(地下会議室A)										
4/2(水)	講堂 8:45	栄養管理室/薬剤室/リハビリテーション室				呼吸管理 坪内 永田医師(30) 看護部長 院長補佐(15) 庶務規程 床嶋課長(15) (特別会議室)		(講堂)		昼食	清掃	清潔操作 (OP室) 貝原部長(60)		院内感染・感染症 感染管理室(30) 医事事務 医事課長(30) 【薬剤・リハ】		臨床病理 今井部長(40)		2年目レクチャー				
								(講堂)														
4/3(木)	端末 研修室 8:45	病院総合情報システム(MINK)						昼食	清掃	電子カルテを利用した症例シミュレーション研修 (救急外来+病棟業務)						2年目レクチャー						
		(3階 端末研修室)								(3階 端末研修室)						(地下会議室B)						
4/4(金)	救急 ラボ 8:30	トリアージコース 【リハ】								昼食	小児救急 【リハ】								2年目レクチャー			
		(救急ラボ)									(救急ラボ)								(地下会議室B)			
4/7(月)	講堂 8:30	A組	BLSコース						昼食	静脈路確保実習	縫合実習		2年目レクチャー									
			(講堂)								(講堂)		(地下会議室B)									
		B組	静脈路確保実習		縫合実習						昼食	BLSコース						2年目レクチャー				
(講堂)						(講堂)						(地下会議室B)										
4/8(火)	講堂 8:30	ICLSコース 【リハ見学】						昼食	ICLSコース 【リハ見学】													
		(講堂)							(講堂)													
4/9(水)	講堂 8:30	KATEC 【リハ見学】						昼食	KATEC 【リハ見学】													
		(講堂)							(講堂)													
4/10(木)	-	2年目とのシャドウイング実習						昼食	2年目とのシャドウイング実習													
4/11(金)	講堂 8:45	身体診察の基本・プレゼンテーションの基本 実習 【リハ見学】						昼食	清掃	研修評価 北委員長(20) 予防接種		臨床研修体制・臨床 研修センターについて 西岡センター長(60)		救急指令センター見学 【薬剤・リハ】								
		(講堂)								(講堂)		(神戸市役所4号館)										

看護部・リハビリテーション技術部合同1年目研修

「呼吸の見方」「酸素療法」、「循環の見方」「脳神経の見方」、
「経管栄養」「ポジショニング、移動の介助」

研修目的：1) 状況に応じ、正しく観察できるための技術を学ぶ

- 2) バイタルサインの意味を理解し、異常なデータを報告することができる
- 3) 酸素療法の種類と特徴を理解し、必要な物品が準備できる
- 4) 経管栄養の意義を理解し正しく準備できる
- 5) 正しいポジショニング、移動の介助ができる

研修方法：各講師より講義を聞き、実習を通じて正しい観察方法や使用方法を身につける

講師：急性・重症患者専門看護師 集中ケア認定看護師 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 NST 専門療法士 リハビリテーション技術部

VII レジデントの指導体制

メンター・メンティー制度

指導者（メンター）が1年目レジデント（メンティー）と、2年目レジデント（メンティー）を指導するが、2年目レジデントも1年目レジデントの教育に参加する。

レジデントは半期に一度、クリニカルラダーによる到達目標評価を自己評価し、メンターによる評価・フィードバックを受ける。

VIII レジデントの募集ならびに採用方法

（1）募集人員

理学療法士 複数名

作業療法士 複数名

言語聴覚士 複数名

（2）募集方法

全国公募

（3）選考方法

筆記試験および面接

IX レジデントの処遇

（1）身分 任期付非正規職員：1年ごとの契約更新 最長2年
在任中に大学院進学の場合、1年の延長可（最高3年まで）

（2）給与 当院規程による

（3）勤務時間 週38時間45分

年次休暇（有給） 10日（1年次）、11日（2年次）

*レジデント1年目は10月1日より支給

（4）休日出勤 月1-2回

（5）公的医療保険、公的年金保険、雇用保険加入

X 研修内容

実務研修 （臨床）	患者の評価治療	25～30時間／週	領域別疾患経験数（主担当）の基準 一般病棟、救急病棟、ICU、心臓リハビリ等 脳血管疾患 :60例／年 運動器疾患 :60例／年 呼吸器疾患 :30例／年 心大血管疾患:30例／年 がん疾患 :20例／年 *がん研修受講者のみ *定期的に臨床経験数の報告を行う
	メンターと共に患者を治療する （“mentored session”）	5時間／週	
	チーム医療に参加する（カンファレンス、回診等）	5時間／週	
講義研修 （教育）	1. レクチャー 2. 論文抄読会（Journal Club） 3. 症例検討会 4. 研究セミナー 5. Problem Learning Discussions 6. カルテ記載（サマリなどを早く正確に書ける能力を養う） 7. 病院経営・診療報酬研修会	5時間／週	病院のインフラ（研修医オリエンテーション、看護部合同研修、院内セミナー等）を活用する
学術研修 （研究）	1. 症例報告 2. 学会発表 3. 論文投稿	2回／年	

XI 教育スケジュール

1 年目

		領域	項目	自己評価	指導者評価	指導者サイン
1年目	レベル1 (1～6ヶ月)	人間関係能力	社会人としてふさわしい身だしなみ、言葉遣いができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			時間、規則を守ることができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			職員に対し、礼儀正しい行動・態度をとることができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			公私の区別をつけることができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リスク管理能力	指導者などに必要なことを報告・連絡・相談ができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			医療安全マニュアルを理解する。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			感染症防止マニュアルを理解する。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			クレーム・暴力対応マニュアルを理解する。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			インシデントレポートの記載方法を理解し、作成できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			アクシデント発生時の対応を理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			BLSを理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リハビリ実践能力	バイタルチェックを行うことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			病院内でのリハビリテーション技術部の役割を理解する。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			リハビリテーションに関わる診療報酬について理解する。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			リハビリテーションにおける実施手順を理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			電子カルテより必要な情報を収集できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、総合実施計画書などを作成できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、治療記録をカルテに記載できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、一般病棟の患者の評価を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、一般病棟の患者の治療を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、一般病棟の患者の移乗を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		教育・研究能力	指導者と共に、カンファレンス・回診に参加できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			カンファレンス等で積極的に質問等を行うことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			急性期医療プログラム（導入）を理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			急性期医療プログラム（脳血管疾患）を理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			急性期医療プログラム（運動器疾患）を理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			レジデントプログラムに参加できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
	レベル2 (7～12ヶ月)	人間関係能力	院内の勉強会に積極的に参加し、自己学習できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			自分の担当患者についてまとめ、症例報告を行うことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			守秘義務を果たすことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			患者・家族に対し、礼儀正しい適切な行動・態度をとることができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リスク管理能力	指導者などに的確な報告や情報提供ができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			医師・看護師と適切なコミュニケーションを取ることができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			医療安全マニュアルに基づき、安全対策を実践できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			感染症防止マニュアルに基づき、感染対策を実践できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			クレーム・暴力対応マニュアルを実践できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			インシデントレポートを積極的に作成できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リハビリ実践能力	病棟看護師等よりリハビリ前に患者の状況を確認することができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			一般病棟の患者が、リハビリを行える状況であるかどうかを総合的に判断できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			1人で総合実施計画書などを正確に作成できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			1人で治療記録をカルテに記載できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			1人で一般病棟の患者の評価を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			1人で一般病棟の患者の治療を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		教育・研究能力	1人で一般病棟の患者の移乗を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、カンファレンス等で症例発表ができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			急性期医療プログラム（呼吸器疾患）を理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			急性期医療プログラム（心大血管疾患）を理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			急性期医療プログラム（がん疾患）を理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			急性期医療プログラム（廃用症候群）を理解できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
	レベル3 (13～18ヶ月)	人間関係能力	院外の勉強会や学会に積極的に参加し、自己学習できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			新人発表を行える。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			患者・家族に対し、医療チームの一員としての応対法を理解し、応対できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			後輩に指導的に関わることができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リスク管理能力	周囲に配慮し、適切な援助を行うことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			対象患者に合わせて危険を予測し、安全対策を実践できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			対象患者に合わせて感染対策を実践できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			周囲の患者にも目を配り、緊急時に適切に対応できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リハビリ実践能力	重症部門の患者の危険を予測し、指導者の下、安全対策が実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、重症部門の患者の評価を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、重症部門の患者の治療を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、重症部門の患者の移乗を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		教育・研究能力	1人でカンファレンス等で症例発表ができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			後輩への教育に参加できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			自己の課題を発見できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			自己の課題に対して資源を活用し、積極的に課題に取り組むことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		レベル4 (19～24ヶ月)	重症部門の患者・家族に対し、医療チームの一員として応対できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			重症部門の患者の危険を予測し、1人で安全対策が実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			重症部門の患者が、リハビリを行える状況であるかどうかを総合的に判断できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リハビリ実践能力	1人で重症部門の患者の評価を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			1人で重症部門の患者の治療を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			1人で重症部門の患者の移乗を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			カンファレンス等で積極的に自分の意見を言うことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		教育・研究能力	後輩の研究・症例報告に対するアドバイスをを行うことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			自己の課題に対して学会発表を行える。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	

2 年目

2年目	レベル3 (13～18ヶ月)	人間関係能力	患者・家族に対し、医療チームの一員としての応対法を理解し、応対できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			後輩に指導的に関わることができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			周囲に配慮し、適切な援助を行うことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リスク管理能力	対象患者に合わせて危険を予測し、安全対策を実践できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			対象患者に合わせて感染対策を実践できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			周囲の患者にも目を配り、緊急時に適切に対応できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リハビリ実践能力	重症部門の患者の危険を予測し、指導者の下、安全対策が実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、重症部門の患者の評価を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			指導者の下、重症部門の患者の治療を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		教育・研究能力	指導者の下、重症部門の患者の移乗を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			1人でカンファレンス等で症例発表ができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			後輩への教育に参加できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
	レベル4 (19～24ヶ月)	人間関係能力	自己の課題を発見できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			自己の課題に対して資源を活用し、積極的に課題に取り組むことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			重症部門の患者・家族に対し、医療チームの一員として応対できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リスク管理能力	重症部門の患者の危険を予測し、1人で安全対策が実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			重症部門の患者が、リハビリを行える状況であるかどうかを総合的に判断できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			1人で重症部門の患者の評価を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		リハビリ実践能力	1人で重症部門の患者の治療を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			1人で重症部門の患者の移乗を実施できる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			カンファレンス等で積極的に自分の意見を言うことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
		教育・研究能力	後輩の研究・症例報告に対するアドバイスをを行うことができる。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	
			自己の課題に対して学会発表を行える。	3 2 1 NA	3 2 1 NA	

XI 評価表

リハビリテーションを実施する上で最低限知っておきたい知識

大項目	中項目	小項目	実施	日付
リハビリテーション業務基準	リハビリテーション実施に関する項目	リハビリテーション実施までの手順について説明できる。	済	未
		リハビリテーションの開始基準を理解できる。	済	未
		リハビリテーションの終了基準を理解できる。	済	未
		院内OPA発生時の連絡先を説明できる。	済	未
		主治医・リハビリ医の連絡先を確認できる。	済	未
		疾患別リハビリテーション料と算定日数上限について説明できる。	済	未
		脳血管疾患等リハビリテーションの対象疾患について説明できる。	済	未
		廃用症候群の対象となる患者を説明できる。	済	未
		運動器リハビリテーションの対象疾患について説明できる。	済	未
		呼吸器リハビリテーションの対象疾患について説明できる。	済	未
	診療報酬に関する項目	心大血管疾患リハビリテーションの対象疾患について説明できる。	済	未
		がん患者リハビリテーションの対象疾患について説明できる。	済	未
		摂食機能療法について説明できる。	済	未
		保険点数の算定制限について説明できる。	済	未
		患者1日につき算定できる上限について説明できる。	済	未
		算定日数を超えたりハビリの算定について説明できる。	済	未
		早期リハビリテーション加算について説明できる。	済	未
		初期加算について説明できる。	済	未
		退院時リハビリテーション指導料について説明できる。	済	未
		リハビリテーション総合実施計画書の概要を説明できる。	済	未
リハビリテーションにおける医療安全	リスク管理について	事故防止対策の基本方針について説明できる。	済	未
		事故防止のための具体的方策について説明できる。	済	未
		アクシデントとインシデントの定義について説明できる。	済	未
		ハインリッヒの法則について説明できる。	済	未
		事故発生時の対応方法について説明できる。	済	未
		リハ安全ガイドラインにおけるリハビリテーションの中止基準を説明できる。	済	未
	リハビリテーション実施に関する項目	Andersen改訂基準について説明できる。	済	未
		急変の前兆となる所見について説明できる。	済	未
		チューブ類の管理の注意点について説明できる。	済	未
		移乗時の注意点について説明できる。	済	未
		心大血管疾患・呼吸器疾患のリハビリテーションにおける中止基準について説明できる。	済	未
		呼吸リハビリを施行しない方がよい場合について説明できる。	済	未
リハビリテーションにおける感染対策	標準予防策について	標準予防策（スタンダードプリコーション）の概要について説明できる。	済	未
		標準予防策（スタンダードプリコーション）の目的について説明できる。	済	未
		標準予防策（スタンダードプリコーション）の対象について説明できる。	済	未
	手指衛生について	手指衛生の目的について説明できる。	済	未
		手指衛生の適応について説明できる。	済	未
	個人防護具について	適切な手洗い方法について説明できる。	済	未
		個人防護具（PPE）について説明できる。	済	未
		サージカルマスクの着脱手順を説明できる。	済	未
		N-95マスクの着脱手順を説明できる。	済	未
		エプロンの着脱手順を説明できる。	済	未
	部門別感染対策について	ガウンの着脱手順を説明できる。	済	未
		感染性廃棄物の廃棄方法を説明できる。	済	未
		集中治療部における感染対策について説明できる。	済	未
	薬剤耐性菌について	救急部門における感染対策について説明できる。	済	未
		一般病棟における感染対策について説明できる。	済	未
		多剤耐性緑膿菌の略語とその概要、感染対策を説明できる。	済	未
		メタロβ-ラクタマーゼ産生菌の略語とその概要、感染対策を説明できる。	済	未
		アミカシン耐性菌の略語とその概要、感染対策を説明できる。	済	未
		バンコマイシン耐性菌の略語とその概要、感染対策を説明できる。	済	未
		ニューデリーメタロβ-ラクタマーゼ産生菌の略語とその概要、感染対策を説明できる。	済	未
		基質拡張型β-ラクタマーゼ産生菌の略語とその概要、感染対策を説明できる。	済	未
		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の略語とその概要、感染対策を説明できる。	済	未
		クロストリジウム・ディフィシルの略語とその概要、感染対策を説明できる。	済	未
	疾患別感染対策について	結核の感染対策を説明できる。	済	未
		インフルエンザの概要と感染対策を説明できる。	済	未
		B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスの概要と感染対策を説明できる。	済	未
		クロイツフェルト・ヤコブ病の概要と感染対策を説明できる。	済	未
		疥癬の概要と感染対策を説明できる。	済	未
クレーム、暴力・威嚇等	クレーム対応について	クレーム対応の心得を説明できる。	済	未
		クレームの体制について説明できる。	済	未
	暴力・威嚇の対応について	暴力・威嚇等への対応方法について説明できる。	済	未

導入 救急領域において知っておきたいこと

検査データの基礎知識	動脈血液ガス	pHの基準値を説明できる	済	未
		pHが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		PaO2の基準値を説明できる	済	未
		PaO2が異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		PaCO2の基準値を説明できる	済	未
		PaCO2が異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		HCO3-の基準値を説明できる	済	未
		HCO3-が異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
	血液検査データ	WBCの正常範囲を説明できる	済	未
		WBCが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		RBCの正常範囲を説明できる	済	未
		RBCが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Hbの正常範囲を説明できる	済	未
		Hbが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Htの正常範囲を説明できる	済	未
		PLTの正常範囲を説明できる	済	未
		PLTが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		PT、PT-INRの正常範囲を説明できる	済	未
		PT、PT-INRが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		APTTの正常範囲を説明できる	済	未
		APTTが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		フィブリノゲンの正常範囲を説明できる	済	未
		フィブリノゲンが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		FDPの正常範囲を説明できる	済	未
		FDPが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Dダイマーの正常範囲を説明できる	済	未
		Dダイマーが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		CRPの正常範囲を説明できる	済	未
		CRPが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		T-bilの正常範囲を説明できる	済	未
		T-bilが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		AST(GOT)の正常範囲を説明できる	済	未
		AST(GOT)が異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		ALT(GPT)の正常範囲を説明できる	済	未
		ALT(GPT)が異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		LD(LDH)の正常範囲を説明できる	済	未
		LD(LDH)が異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		ALPの正常範囲を説明できる	済	未
		ALPが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		γ GTPの正常範囲を説明できる	済	未
		γ GTPが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		CHEの正常範囲を説明できる	済	未
		CHEが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		CK(CPK)の正常範囲を説明できる	済	未
		CK(CPK)が異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		BUNの正常範囲を説明できる	済	未
		BUNが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Creの正常範囲を説明できる	済	未
		Creが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		UAの正常範囲を説明できる	済	未
		UAが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Naの正常範囲を説明できる	済	未
		Naが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Kの正常範囲を説明できる	済	未
		Kが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Clの正常範囲を説明できる	済	未
		Clが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Caの正常範囲を説明できる	済	未
		Caが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Pの正常範囲を説明できる	済	未
		Pが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		アンモニアの正常範囲を説明できる	済	未
		アンモニアが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		TPの正常範囲を説明できる	済	未
		TPが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		Albの正常範囲を説明できる	済	未
		Albが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		PAの正常範囲を説明できる	済	未
		PAが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		BS/PGの正常範囲を説明できる	済	未
		BS/PGが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		HbA1cの正常範囲を説明できる	済	未
		HbA1cが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		トロポニンTの正常範囲を説明できる	済	未
		トロポニンTが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		トロポニンIの正常範囲を説明できる	済	未
		トロポニンIが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		BNPの正常範囲を説明できる	済	未
		BNPが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		eGFRの正常範囲を説明できる	済	未
		eGFRが異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
		KL6の正常範囲を説明できる	済	未
		KL6が異常値を示す病態、症状を説明できる	済	未
正常画像データの基礎知識	頭部画像	XP(X-ray photograph)画像について理解できている	済	未
		CT(computed tomography)画像について理解できている	済	未
		MRI(magnetic resonance spectroscopy)画像について理解できている	済	未
		MRA(magnetic resonance angiography)画像について理解できている	済	未
		DSA(digital subtraction angiography)画像について理解できている	済	未
	頸部画像	XP画像について理解できている	済	未
		CT画像について理解できている	済	未
		MRI画像について理解できている	済	未
		DSA画像について理解できている	済	未
	肺縦隔画像	XP画像について理解できている	済	未
		CT画像について理解できている	済	未
		MRI画像について理解できている	済	未
	心大血管画像	CT画像について理解できている	済	未
		DSA画像について理解できている	済	未
	冠動脈画像	DSA画像について理解できている	済	未
	腹部画像	XP画像について理解できている	済	未
		CT画像について理解できている	済	未
		MRI画像について理解できている	済	未
	骨盤画像	男性MRI画像について理解できている	済	未
		女性MRI画像について理解できている	済	未
	上肢画像	XP画像について理解できている	済	未
		MRI画像について理解できている	済	未
	下肢画像	DSA画像について理解できている	済	未
		XP画像について理解できている	済	未
		MRI画像について理解できている	済	未
	脊椎画像	DSA画像について理解できている	済	未
		XP画像について理解できている	済	未
		MRI画像について理解できている	済	未

脳血管疾患を診る上で必要な知識

大項目	中項目	小項目	実施	日付
基礎知識	症状	頭蓋内圧亢進症状について説明できる。	済	未
		クッシング徴候について説明できる。	済	未
		脳ヘルニアの発生機序について説明できる。	済	未
		脳ヘルニアの種類について説明できる。	済	未
		脳ヘルニアにより障害される部位の違いによる症状の違いを説明できる。	済	未
	血圧管理	ベナンプラについて説明できる。	済	未
		脳出血の血圧管理を説明できる。	済	未
		脳梗塞の血圧管理を説明できる。	済	未
		SAHの血圧管理を説明できる。	済	未
	ドレーン管理	脳室ドレーンの目的・適応・合併症を説明できる。	済	未
		脳槽ドレーンの目的・適応・合併症を説明できる。	済	未
		スバイナル(腰椎)ドレーンの目的・適応・合併症を説明できる。	済	未
		硬膜下ドレーンの目的と合併症を説明できる。	済	未
		硬膜外・皮下ドレーンの目的と合併症を説明できる。	済	未
		排泄の正常・異常(量・色)について説明できる。	済	未
		ドレーン管理中の患者に対する体位変換時の注意点を説明できる。	済	未
評価・検査	評価	NHSSを説明できる。	済	未
		GCSを説明できる。	済	未
	脳画像検査	JCSを説明できる。	済	未
		CT画像の特徴(脳出血・脳梗塞)を説明できる。	済	未
		CTとMRIの違いがわかる。	済	未
		MRI画像のDWIの特徴を説明できる。	済	未
		MRI画像のT1の特徴を説明できる。	済	未
		MRI画像のT2の特徴を説明できる。	済	未
		MRI画像のT2*の特徴を説明できる。	済	未
		MRI画像のFLAIRの特徴を説明できる。	済	未
		中心溝の場所がわかる。	済	未
		被殻の場所を説明できる。	済	未
		視床の場所を説明できる。	済	未
		レンズ核の場所を説明できる。	済	未
		放線冠の場所を説明できる。	済	未
		中脳・橋・延髄の場所を説明できる。	済	未
		Broca's area/Wernicke's areaの場所がわかる。	済	未
		錐体路の経路を説明できる。	済	未
		髄液の循環経路を説明できる。	済	未
		MRA画像/ Willis動脈輪の血管・略語を説明できる。	済	未
		内頰・外頰動脈の血管の分岐を説明できる。	済	未
	脳血管疾患の分類	被殻出血の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		視床出血の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		皮質下出血の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		小脳出血の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		脳幹(橋)出血の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		SAHの病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		SAHの主な原因・重傷度分類が説明できる。	済	未
		脳血管攣縮(vasospasm)について説明できる。	済	未
		脳動静脈奇形(AVM)の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		硬膜動静脈瘻の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
	外傷性脳血管障害	急性硬膜下血腫の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		慢性硬膜下血腫の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		脳挫傷の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
	虚血性脳血管障害	外傷性SAHの病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		ラクナ脳梗塞の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		アテローム性脳梗塞(ATBI)の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
	水頭症	心原性脳塞栓の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		もやもや病の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
		一過性脳虚血発作(TIA)の病態・脳画像・症状が説明できる。	済	未
	その他	急性水頭症の症状を説明できる。	済	未
		正常圧水頭症の症状を説明できる。	済	未
		水頭症の治療法(V-Pシャント・L-Pシャント)を説明できる。	済	未
	治療	てんかんの病態を説明できる。	済	未
		てんかんの分類を説明できる。	済	未
		てんかんの治療を説明できる。	済	未
		髄膜炎の病態を説明できる。	済	未
		髄膜炎の治療を説明できる。	済	未
		頸動脈ステント内挿術(CAS)について説明できる。	済	未
		内臓剝離術(CEA)について説明できる。	済	未
		コイル塞栓術について説明できる。	済	未
		開頭クリッピング術について説明できる。	済	未
		開頭血腫除去術について説明できる。	済	未
神経疾患	神経変性疾患	血栓溶解療法について説明できる。	済	未
		rt-PA療法について説明できる。	済	未
		脳保護療法(エダラボン)について説明できる。	済	未
	脱髄性中枢性疾患	抗血小板療法(アスピリンなど)について説明できる。	済	未
		抗凝固療法(ヘパリンなど)について説明できる。	済	未
		抗脳浮腫療法(グリセオールなど)について説明できる。	済	未
		穿頭ドレーナージ術について説明できる。	済	未
		パーキンソン病の病態・分類・治療を説明できる。	済	未
	末梢神経障害	パーキンソン症候群の病態を説明できる。	済	未
		筋萎縮性側索硬化症(ALS)の病態と症状を説明できる。	済	未
		筋萎縮性側索硬化症(ALS)の陰性症状を説明できる。	済	未
		多発性硬化症(MS)の病態と症状を説明できる。	済	未
		多発性硬化症(MS)の治療を説明できる。	済	未
	神経筋接合部の疾患	急性散在性脳脊髄炎(ADEM)の病態を説明できる。	済	未
		急性散在性脳脊髄炎(ADEM)の治療を説明できる。	済	未
		末梢神経障害(ニューロパシー)の分類を説明できる。	済	未
		ギランバレー症候群(GBS)の病態・症状・経過を説明できる。	済	未
		ギランバレー症候群(GBS)の治療を説明できる。	済	未
	神経筋接合部の疾患	ギランバレー症候群(GBS)とFisher症候群、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパシー(CIDP)との違いを説明できる。	済	未
		重症筋無力症(MG)の病態を説明できる。	済	未
		重症筋無力症(MG)の分類を説明できる。	済	未
		重症筋無力症(MG)の治療を説明できる。	済	未
			済	未

運動器疾患を診る上で必要な知識

上肢運動器疾患の基礎知識	解剖学的知識		手根骨を説明できる	済	未
			手関節の運動にかかわる筋を説明できる	済	未
			偽関節について説明できる	済	未
			小指外転筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			母指内転筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			短母指内転筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			長母指外転筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			短機側手根伸筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			長機側手根伸筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			尺側手根伸筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			総指伸筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			小指伸筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			示指伸筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			短母指伸筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			長母指伸筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			機側手根屈筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			尺側手根屈筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			短小指屈筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			深指屈筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			浅指屈筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			短母指屈筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			長母指屈筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			小指対立筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			母指対立筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			長掌筋の英語略称と、その起始・停止・支配神経・作用を説明できる。	済	未
			手内在筋優位 (intrinsic plus position) について説明できる。	済	未
			手内在筋劣位 (intrinsic minus position) について説明できる。	済	未
			Dobys 6pack exerciseについて説明できる。	済	未
評価・手術など	評価項目		DASHについて説明できる	済	未
			TAM(total active motion) について説明できる	済	未
			TPM(total passive motion)について説明できる	済	未
			指尖手掌間皮線について説明できる	済	未
			Semmes-Weinstein monofilament testについて説明できる	済	未
	手術療法		骨移植 (同種骨移植・自家骨移植) について説明できる。	済	未
			骨接合術でよく用いられる材料・方法を説明できる。	済	未
			滑膜切除術について説明できる。	済	未
			関節デブリドマンについて説明できる。	済	未
			関節固定術について説明できる。	済	未
			関節形成術について説明できる。	済	未
			人工関節置換術の種類について説明できる。	済	未
			人工関節の適応について説明できる。	済	未
			人工関節の合併症について説明できる。	済	未
			切断肢・指再接着術について説明できる。	済	未
			切断肢・指の分類について説明できる。	済	未
			遊離組織移植術の種類・内容について説明できる。	済	未
各疾患	骨折	基節骨・中手骨骨折	基節骨折について説明できる	済	未
			中手骨骨折について説明できる	済	未
			基節骨・中手骨骨折の分類とその特徴について説明できる	済	未
			Bennett骨折について説明できる	済	未
			Roland骨折について説明できる	済	未
			保存的療法 (Burkhalter法) について説明できる	済	未
			保存的療法 (石黒法) について説明できる	済	未
			基節骨・中手骨骨折に対する各種固定法について説明できる	済	未
			舟状骨骨折の特徴を説明できる。	済	未
		手根骨骨折 (特に舟状骨骨折)	Herbertの分類について説明できる。	済	未
			舟状骨骨折の治療 (保存的治療) を説明できる。	済	未
			舟状骨骨折の治療 (手術療法) を説明できる。	済	未
		壊骨遠位端骨折	手関節のバイオメカニクスについて説明できる。	済	未
			前腕のバイオメカニクスについて説明できる。	済	未
			壊骨遠位端骨折の特徴を説明できる。	済	未
			壊骨遠位端骨折の骨折型分類を説明できる。	済	未
			壊骨遠位端骨折の治療 (保存療法) について説明できる。	済	未
			壊骨遠位端骨折の治療 (手術療法) について説明できる。	済	未
		TFCC損傷	TFCC (三角繊維軟骨複合体) について説明できる。	済	未
			TFCC (三角繊維軟骨複合体) 損傷について説明できる。	済	未
		肘頭骨折	尺骨突き上げ症候群について説明できる。	済	未
			肘頭骨折の病態について説明できる。	済	未
			Goltonの分類を説明できる。	済	未
			Wadsworthの分類を説明できる。	済	未
		上腕骨骨折幹部骨折	肘頭骨折の治療 (保存的・外科的) について説明できる。	済	未
			上腕骨骨折幹部骨折の特徴を説明できる。	済	未
		上腕骨近位端骨折	上腕骨骨折幹部骨折の手術療法を説明できる。	済	未
			上腕骨近位端骨折の病態について説明できる。	済	未
			上腕骨近位端骨折の分類について説明できる。	済	未
			上腕骨近位端骨折の治療について説明できる。	済	未
		上腕骨遠位端骨折	上腕骨遠位端骨折の種類と各病態を説明できる。	済	未
			Volkmann拘縮について説明できる。	済	未
			上腕骨遠位端骨折の治療について説明できる。	済	未
	関節症	母指CM関節症	母指CM関節症の病態を説明できる	済	未
			母指CM関節症の分類を説明できる	済	未
			母指CM関節症の保存的治療・観血的治療について説明できる	済	未
		熱傷	熱傷の深達度について説明できる	済	未
			熱傷面積の算定について説明できる	済	未
			熱傷の評価 (診断) を説明できる	済	未
			熱傷の最初の救急管理を説明できる	済	未
			最初のケア (initial care) を説明できる	済	未
		ポジショニング	熱傷のポジショニングについて説明できる。	済	未
			熱傷のスプリントについて説明できる。	済	未
		保存的治療/観血的治療	熱傷の保存的治療/観血的治療について説明できる。	済	未
			壊皮の特徴・注意点について説明できる。	済	未
		末梢神経障害	神経構造について説明できる。	済	未
			末梢神経の機能について説明できる。	済	未
			神経再生過程について説明できる。	済	未
			各末梢神経の走行と手の障害について説明できる。	済	未
			知覚の回復過程について説明できる。	済	未
		原因/分類	末梢神経障害の原因・分類について説明できる。	済	未
			壊骨神経麻痺の病態・症状について説明できる。	済	未
		壊骨神経麻痺	壊骨神経麻痺の原因について説明できる。	済	未
			壊骨神経麻痺の分類について説明できる。	済	未
			壊骨神経麻痺に対するスプリントについて説明できる。	済	未
			壊骨神経麻痺の保存的治療/観血的治療について説明できる。	済	未
		正中神経麻痺	正中神経麻痺の病態・症状について説明できる。	済	未
			正中神経麻痺の原因について説明できる。	済	未
			正中神経麻痺の分類について説明できる。	済	未
			正中神経麻痺に対するスプリントについて説明できる。	済	未
			正中神経麻痺の保存的治療/観血的治療について説明できる。	済	未
		尺骨神経麻痺	尺骨神経麻痺の病態・症状について説明できる。	済	未
			尺骨神経麻痺の原因について説明できる。	済	未
			尺骨神経麻痺の分類について説明できる。	済	未
			尺骨神経麻痺に対するスプリントについて説明できる。	済	未
			尺骨神経麻痺の保存的治療/観血的治療について説明できる。	済	未
		腕神経叢麻痺	腕神経叢の解剖について説明できる。	済	未
			腕神経叢麻痺の病態/特徴について説明できる。	済	未
			腕神経叢麻痺の原因について説明できる。	済	未
			腕神経叢麻痺の分類について説明できる。	済	未
			腕神経叢麻痺の保存的治療/観血的治療について説明できる。	済	未

各疾患	骨折	基節骨・中手骨骨折	基節骨折について説明できる	済	未
			中手骨骨折について説明できる	済	未
			基節骨・中手骨骨折の分類とその特徴について説明できる	済	未
			Bennett骨折について説明できる	済	未
			Roland骨折について説明できる	済	未
			保存的療法(Burkhalter法)について説明できる	済	未
			保存的療法(石黒法)について説明できる	済	未
			基節骨・中手骨骨折に対する各種固定法について説明できる	済	未
		手根骨骨折(特に舟状骨骨折)	舟状骨骨折の特徴を説明できる	済	未
			Herbertの分類について説明できる	済	未
			舟状骨骨折の治療(保存的治療)を説明できる	済	未
		橈骨遠位端骨折	舟状骨骨折の治療(手術療法)を説明できる	済	未
			手関節のバイオメカニクスについて説明できる	済	未
			前腕のバイオメカニクスについて説明できる	済	未
		TFCC損傷	橈骨遠位端骨折の特徴を説明できる	済	未
			橈骨遠位端骨折の骨折型分類を説明できる	済	未
			橈骨遠位端骨折の治療(保存療法)について説明できる	済	未
		肘頭骨折	橈骨遠位端骨折の治療(手術療法)について説明できる	済	未
			TFCC(三角繊維軟骨複合体)損傷について説明できる	済	未
			TFCC(三角繊維軟骨複合体)損傷について説明できる	済	未
		上腕骨骨折	尺骨突き上げ症候群について説明できる	済	未
			肘頭骨折の病態について説明できる	済	未
			Coltonの分類を説明できる	済	未
		上腕骨骨折	Wadsworthの分類を説明できる	済	未
			肘頭骨折の治療(保存的・外科的)について説明できる	済	未
			上腕骨骨折の特徴を説明できる	済	未
		上腕骨近位端骨折	上腕骨骨折の手術療法を説明できる	済	未
			上腕骨近位端骨折の病態について説明できる	済	未
			上腕骨近位端骨折の分類について説明できる	済	未
		上腕骨遠位端骨折	上腕骨近位端骨折の治療について説明できる	済	未
			上腕骨遠位端骨折の種類と各病態を説明できる	済	未
			Volkmann拘縮について説明できる	済	未
	関節症	母指CM関節症	上腕骨遠位端骨折の治療について説明できる	済	未
			母指CM関節症の病態を説明できる	済	未
			母指CM関節症の分類を説明できる	済	未
			母指CM関節症の保存的治療/観血的治療について説明できる	済	未
		熱傷	熱傷の深達度について説明できる	済	未
			熱傷の深達度の分類について説明できる	済	未
			熱傷面積の算定について説明できる	済	未
			熱傷の評価(診断)を説明できる	済	未
			熱傷の最初の救急管理を説明できる	済	未
			最初のケア(initial care)を説明できる	済	未
			熱傷のポジショニングについて説明できる	済	未
			熱傷のスプリントについて説明できる	済	未
			熱傷の保存的治療/観血的治療について説明できる	済	未
			植皮の特徴/注意点について説明できる	済	未
		末梢神経障害	神経構造について説明できる	済	未
			末梢神経の機能について説明できる	済	未
			神経再生過程について説明できる	済	未
			各末梢神経の走行と手の障害について説明できる	済	未
			知覚の回復過程について説明できる	済	未
			末梢神経障害の原因/分類について説明できる	済	未
			末梢神経障害の病態・症状について説明できる	済	未
			末梢神経障害の原因について説明できる	済	未
			末梢神経障害の分類について説明できる	済	未
			末梢神経障害の保存的治療/観血的治療について説明できる	済	未
		正中神経麻痺	末梢神経障害に対するスプリントについて説明できる	済	未
			正中神経麻痺の病態・症状について説明できる	済	未
			正中神経麻痺の原因について説明できる	済	未
			正中神経麻痺の分類について説明できる	済	未
			正中神経麻痺に対するスプリントについて説明できる	済	未
			正中神経麻痺の保存的治療/観血的治療について説明できる	済	未
			尺骨神経麻痺の病態・症状について説明できる	済	未
			尺骨神経麻痺の原因について説明できる	済	未
			尺骨神経麻痺の分類について説明できる	済	未
			尺骨神経麻痺に対するスプリントについて説明できる	済	未
		腕神経叢麻痺	尺骨神経麻痺の保存的治療/観血的治療について説明できる	済	未
			腕神経叢麻痺の解剖について説明できる	済	未
			腕神経叢麻痺の病態・特徴について説明できる	済	未
			腕神経叢麻痺の原因について説明できる	済	未
			腕神経叢麻痺の分類について説明できる	済	未
			腕神経叢麻痺の保存的治療/観血的治療について説明できる	済	未
		絞扼性神経障害	手根管の解剖について説明できる	済	未
			手根管症候群の病態・症状について説明できる	済	未
			手根管症候群の原因について説明できる	済	未
			手根管症候群の分類について説明できる	済	未
			手根管症候群の保存的治療/観血的治療について説明できる	済	未
			肘部管症候群の病態・特徴について説明できる	済	未
			肘部管症候群の原因について説明できる	済	未
			肘部管症候群の分類について説明できる	済	未
			肘部管症候群の保存的治療/観血的治療について説明できる	済	未
			肘部管症候群の保存的治療/観血的治療について説明できる	済	未
	腱損傷	屈筋腱/伸筋腱損傷	屈筋腱と伸筋腱の相連について説明できる	済	未
			損傷区分と特徴について説明できる	済	未
			修復腱の治療メカニズム/治療過程について説明できる	済	未
			縫合技法について説明できる	済	未
			修復腱の癒着について説明できる	済	未
			屈筋腱/伸筋腱損傷のスプリントについて説明できる	済	未
			屈筋腱/伸筋腱損傷の評価について説明できる	済	未
			屈筋腱/伸筋腱損傷のリハビリテーション上の留意点について説明できる	済	未
		手指切断	切断の分類について説明できる	済	未
			指/末節部切断の分類について説明できる	済	未
			手指切断のスプリントについて説明できる	済	未
			手指切断の評価について説明できる	済	未
			手指切断のリハビリテーション上の留意点について説明できる	済	未
	機能再建	腱移行	腱移行の目的について説明できる	済	未
			腱移行の原則について説明できる	済	未
			腱移行術の適応について説明できる	済	未
			腱移行術後のスプリントについて説明できる	済	未
			腱移行術後の評価について説明できる	済	未
			腱移行術後の留意点について説明できる	済	未

下肢運動器疾患の基礎知識	解剖学的知識	縫工筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		大腿筋腹張筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		中殿筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		大殿筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		大腿方形筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		腸腰筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		長内転筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		大内転筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		薄筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		半腱様筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		半膜様筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		大腿二頭筋長頭の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		大腿二頭筋短頭の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		大腿直筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		内側広筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		外側広筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		前脛骨筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		長趾伸筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		長母趾伸筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		腓腹筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		ヒラメ筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		後脛骨筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		長趾屈筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		短趾屈筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		長母趾屈筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		長腓骨筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		短腓骨筋の起始・停止・支配神経・作用を説明できる	済	未
		股関節周囲の靭帯の名称と作用を説明できる	済	未
		膝関節周囲の靭帯の名称と作用を説明できる	済	未
		足関節周囲の靭帯の名称と作用を説明できる	済	未
	筋生理学的知識	筋力・持久力を説明できる	済	未
		筋のエネルギー供給機構を説明できる	済	未
		筋繊維の種類と特性を説明できる	済	未
		筋の収縮様式を説明できる	済	未
		筋力・持久力の評価を説明できる	済	未
		筋力と運動速度、関節角度を説明できる	済	未
		筋力訓練の訓練効果を説明できる	済	未
		持久力訓練の訓練効果を説明できる	済	未
		閉鎖運動連鎖を用いた筋力訓練を説明できる	済	未
		遠心性訓練の臨床応用を説明できる	済	未
		トレーニングの原則を説明できる	済	未
	運動学的知識	運動様式による分類を説明できる	済	未
		運動軸による分類を説明できる	済	未
		基本肢位を説明できる	済	未
		身体の前と運動の軸を説明できる	済	未
		関節運動の表現を説明できる	済	未
		関節可動域測定の意義を説明できる	済	未
		関節可動域測定法と表示法を説明できる	済	未
		関節可動域測定の基本を説明できる	済	未
		関節可動域制限の原因を説明できる	済	未
	痛み	侵害受容性疼痛を説明できる	済	未
		神経因性疼痛を説明できる	済	未
		精神心因性疼痛を説明できる	済	未
		高閾値機械的受容器を説明できる	済	未
		ポリモーダル受容器を説明できる	済	未
		急性痛と慢性痛を説明できる	済	未
		一次痛と二次痛を説明できる	済	未
		ゲートコントロール説 (Gate control theory) を説明できる	済	未
		下行性疼痛抑制機構を説明できる	済	未
		内因性鎮痛物質を説明できる	済	未
		先取り鎮痛を説明できる	済	未
		筋・筋膜性疼痛を説明できる	済	未
		関節痛を説明できる	済	未
		幻肢痛を説明できる	済	未
		カウザルギーと反射性交感神経性ジストロフィーを説明できる	済	未
		痛みの程度および質の測定法を説明できる	済	未
		軟部組織の痛みの評価を説明できる	済	未
治療	物理療法	温熱療法を説明できる	済	未
		寒冷療法を説明できる	済	未
		光線療法を説明できる	済	未
		電気刺激療法を説明できる	済	未
		水治療法を説明できる	済	未
		牽引療法を説明できる	済	未

各疾患	脊髄損傷		ASIA impairment scaleの概要を説明できる	済	未
			Zancolliの分類の概要を説明できる	済	未
			国際標準評価法における各神経支配レベルのkeymuscle(上肢筋)を答えられる	済	未
			国際標準評価法における各神経支配レベルのkeymuscle(下肢筋)を答えられる	済	未
			国際標準評価法における各神経支配レベルのkeysensorypoint一覽(C2～C8)を答えられる	済	未
			国際標準評価法における各神経支配レベルのkeysensorypoint一覽(T1～T12)を答えられる	済	未
			国際標準評価法における各神経支配レベルのkeysensorypoint一覽(L1～S5)を答えられる	済	未
			ASIAの分類に従って、頸髄損傷患者患者を評価できる	済	未
			脊髄損傷者のADLを説明できる(C4～8)	済	未
	切断と義肢		切断の原因と適応を説明できる	済	未
			切断部位の決定因子を説明できる	済	未
			評価の意義を説明できる	済	未
			評価の要素を説明できる	済	未
			検査方法を説明できる	済	未
			soft dressingを説明できる	済	未
			rigid dressingを説明できる	済	未
			semi-rigid dressingを説明できる	済	未
			良肢位を説明できる	済	未
			仮義足を説明できる	済	未
	骨折	基礎知識	骨折の原因を説明できる	済	未
			骨折の原因となる外力を説明できる	済	未
			骨折線による分類を説明できる	済	未
			単純骨折と複雑骨折を説明できる	済	未
			骨折の過程を説明できる	済	未
			直接的骨癒合(一次性骨癒合)を説明できる	済	未
			骨癒合の条件を説明できる	済	未
			骨癒合日数を説明できる	済	未
			合併症を説明できる	済	未
			開放骨折を説明できる	済	未
		大腿骨骨折	病的骨折を説明できる	済	未
			小児骨折の特徴を説明できる	済	未
			高齢者に起こりやすい骨折とその発生機序を説明できる	済	未
			大腿骨骨折の病態について説明できる。	済	未
			大腿骨骨折の分類について説明できる。	済	未
			大腿骨骨折の治療について説明できる。	済	未
		膝蓋骨骨折	膝蓋骨骨折の病態について説明できる。	済	未
			膝蓋骨骨折の分類について説明できる。	済	未
		下腿骨骨折	膝蓋骨骨折の治療について説明できる。	済	未
			下腿骨骨折の病態について説明できる。	済	未
		踵骨骨折	下腿骨骨折の分類について説明できる。	済	未
			下腿骨骨折の治療について説明できる。	済	未
		中足骨骨折	踵骨骨折の病態について説明できる。	済	未
			踵骨骨折の分類について説明できる。	済	未
		胸椎・腰椎骨折	踵骨骨折の治療について説明できる。	済	未
			中足骨骨折の病態について説明できる。	済	未
		肋骨骨折	中足骨骨折の分類について説明できる。	済	未
			中足骨骨折の治療について説明できる。	済	未
		骨盤骨折	胸椎・腰椎骨折の病態について説明できる。	済	未
			胸椎・腰椎骨折の分類について説明できる。	済	未
		多発骨折	胸椎・腰椎骨折の治療について説明できる。	済	未
			肋骨骨折の病態について説明できる。	済	未
	慢性関節リウマチ		肋骨骨折の分類について説明できる。	済	未
			肋骨骨折の治療について説明できる。	済	未
			骨盤骨折の病態について説明できる。	済	未
			骨盤骨折の分類について説明できる。	済	未
			骨盤骨折の治療について説明できる。	済	未
			多発骨折の病態について説明できる。	済	未
			多発骨折の分類について説明できる。	済	未
			多発骨折の治療について説明できる。	済	未
			ARAの診断基準を説明できる	済	未
			Steinbrockerのstageとclassを説明できる	済	未
	末梢神経損傷		Lansbury評価を説明できる	済	未
			リウマトイド因子を説明できる	済	未
			赤血球沈降速度およびC反応性蛋白を説明できる	済	未
			初期症状を説明できる	済	未
			関節症状を説明できる	済	未
			経過および予後を説明できる	済	未
			関節変形の発現を説明できる	済	未
			滑膜炎症状と構造的な症状を説明できる	済	未
			RAの治療体系を説明できる	済	未
			薬物療法を説明できる	済	未
	変形性骨関節症	変形性股関節症	手術療法を説明できる	済	未
			分岐麻痺を説明できる	済	未
			大腿神経麻痺を説明できる	済	未
			坐骨神経麻痺を説明できる	済	未
			変形性股関節症の病態について説明できる。	済	未
			変形性股関節症の分類について説明できる。	済	未
			変形性股関節症の治療について説明できる。	済	未
			人工股関節全置換術を説明できる	済	未
			骨セメント固定とセメントレスを説明できる	済	未
			人工骨頭を説明できる	済	未
	スポーツ傷害	変形性膝関節症	変形性膝関節症の病態について説明できる。	済	未
			変形性膝関節症の分類について説明できる。	済	未
			変形性膝関節症の治療について説明できる。	済	未
			人工膝関節全置換術を説明できる	済	未
			膝原組織を説明できる	済	未
			炎症を説明できる	済	未
			靱帯を説明できる	済	未
			筋を説明できる	済	未
			腱を説明できる	済	未
			軟骨を説明できる	済	未
			前十字靱帯損傷を説明できる	済	未
			後十字靱帯損傷を説明できる	済	未
			内側側副靱帯損傷を説明できる	済	未
			半月板損傷を説明できる	済	未
			足関節外側靱帯損傷を説明できる	済	未
			アキレス腱断裂を説明できる	済	未
			投球障害肩(野球肩)を説明できる	済	未

生体侵襲について

生体侵襲についての基礎知識	生体反応のメカニズム(外科侵襲以外)	痛みと不安が生体に与える影響を説明できる	済	未
		循環血液量の低下が生体に与える影響を説明できる	済	未
手術侵襲(外傷)に対する生体反応		低酸素血症が生体に与える影響を説明できる	済	未
		栄養(基質)の不足が生体に与える影響を説明できる	済	未
		温度変化(温冷刺激)が生体に与える影響を説明できる	済	未
		Mooreの4相について説明できる	済	未
		炎症反応のメカニズムについて説明できる	済	未
		SIRS(Systemic Inflammatory Response Syndrome: 全身性炎症反応症候群)について説明できる	済	未
		術後低酸素血症になる要因を説明できる	済	未
		麻酔が生体の呼吸機能に与える影響を理解している	済	未
		手術部位の違いにより術後肺活量に及ぼす影響が異なることを理解している	済	未
		人工呼吸器管理下における肺萎縮について説明できる	済	未
		手術侵襲による体液喪失の原因について理解している	済	未
		手術侵襲によるサートスペースへの体液漏出とrefillingによる合併症を説明できる	済	未
		術前の呼吸リハビリで要点とポイントを理解している	済	未

呼吸器疾患を診る上で必要な知識

大項目	中項目	小項目	実施	日付
基礎知識	呼吸器の解剖	胸郭について説明できる	済	未
		胸腔について説明できる	済	未
		気管支肺胞系について説明できる	済	未
		血管系について説明できる	済	未
		リンパ系について説明できる	済	未
		神経系について説明できる	済	未
		呼吸筋について説明できる	済	未
	呼吸器の生理	気道の生理的役割を理解している	済	未
		換気のみカニズムを理解している	済	未
		PaO ₂ について説明できる	済	未
		PaCO ₂ について説明できる	済	未
		PaO ₂ の決定因子を理解している	済	未
		末梢組織への酸素運搬を規定する因子を理解している	済	未
		二酸化炭素の運搬について説明できる	済	未
		呼吸中枢と呼吸の調整について説明できる	済	未
評価	視診	頸静脈怒張について説明できる	済	未
		正常呼吸パターンについて説明できる	済	未
		異常呼吸パターンについて説明できる	済	未
		呼吸補助筋について説明できる	済	未
		ばち状指について説明できる	済	未
	触診	気管の触診ができる	済	未
		胸腹部の動きを触診できる	済	未
	聴診	呼吸補助筋の触診ができる	済	未
		正常呼吸音について説明できる	済	未
	胸部X線写真	異常呼吸音について説明できる	済	未
		撮影体位を確認できる	済	未
	胸部CT写真	読影手順を説明できる	済	未
		胸郭(軟部組織・肋骨)の確認ができる	済	未
		肺の全輪郭(胸膜・横隔膜・シルエットサイン)の確認ができる	済	未
		縦隔内の気管・主気管支の確認ができる	済	未
		縦隔境界線を確認できる	済	未
	呼吸機能検査	肺葉の分布を確認できる	済	未
		胸部CTの適応を理解している	済	未
	血液ガス検査	胸部CTの正常像を説明できる	済	未
		肺気量分面を理解している	済	未
		1回換気量について説明できる	済	未
		肺活量(VC)について説明できる	済	未
		%肺活量(%VC)について説明できる	済	未
		努力肺活量(FVC)について説明できる	済	未
		1秒量(FVC1)について説明できる	済	未
		1秒率(FVC1%)について説明できる	済	未
		換気障害について説明できる(閉塞性・拘束性・混合性)	済	未
		フローボリューム曲線について説明できる	済	未
	パルスオキシメータ	低酸素血症の原因を説明できる	済	未
		高二酸化炭素血症の原因を説明できる	済	未
各疾患	気管支鏡検査	酸素解離曲線について理解している	済	未
		パルスオキシメータの欠点について理解している	済	未
		気管支鏡検査の目的を理解している	済	未
		気管支肺胞洗浄の目的を理解している	済	未
		英語表記ができる	済	未
	COPD	病態について説明できる	済	未
		身体所見について説明できる	済	未
		X線所見について説明できる	済	未
		血液検査所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
	間質性肺炎	英語表記ができる	済	未
		病態について説明できる	済	未
		身体所見について説明できる	済	未
		X線所見について説明できる	済	未
		胸部CT所見について説明できる	済	未
	気管支喘息	血液検査所見について説明できる	済	未
		その他検査所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
		病態について説明できる	済	未
		特徴的な所見について説明できる	済	未
	感染性肺炎	治療(薬物療法)について説明できる	済	未
		病態について説明できる	済	未
		血液検査所見について説明できる	済	未
		X線所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
	細菌性肺炎	病態について説明できる	済	未
		血液検査所見について説明できる	済	未
		X線所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
		病態について説明できる	済	未
	肺炎	特徴的な所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
		病態について説明できる	済	未
		特徴的な所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
	インフルエンザ	病態について説明できる	済	未
		特徴的な所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
		病態について説明できる	済	未
		特徴的な所見について説明できる	済	未
	肺結核	治療(薬物療法)について説明できる	済	未
		病態について説明できる	済	未
		特徴的な所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
		病態について説明できる	済	未
	ニューモシスチス肺炎	特徴的な所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
		病態について説明できる	済	未
		特徴的な所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
治療	肺塞栓	原因と病態について説明できる	済	未
		risk factorについて説明できる	済	未
		特徴的な所見について説明できる	済	未
		治療(薬物療法)について説明できる	済	未
		病態について説明できる	済	未
	急性呼吸窮迫症候群(ARDS)	FiO ₂ について説明できる	済	未
		PaO ₂ /FiO ₂ について説明できる	済	未
		軽症・中等症・重症の区別ができる	済	未
		循環管理について説明できる	済	未
		呼吸管理について説明できる	済	未
	酸素療法	酸素療法の目的を説明できる	済	未
		酸素マスクの種類と吸入酸素濃度について説明できる	済	未
		在宅酸素療法について説明できる	済	未
		強制換気について説明できる	済	未
		補助換気について説明できる	済	未
	人工呼吸器	人工呼吸器モード	済	未
		PEEPについて説明できる	済	未
		PSIについて説明できる	済	未
		SIMVについて説明できる	済	未
		人工呼吸器による呼吸器合併症について理解している	済	未
	NPPV	Sモードについて説明できる	済	未
		Tモードについて説明できる	済	未
		S/Tモードについて説明できる	済	未
		CPAPについて説明できる	済	未
		NHFについて説明できる	済	未
リハビリテーション	NHF	胸腔ドレーナージ	済	未
		胸腔ドレーナージについて説明できる	済	未
		B.org スケールについて説明できる	済	未
		6分間歩行試験を実施できる	済	未
		シャトル・ウォーキング試験を実施できる	済	未
	運動療法	呼吸筋力(口腔内圧)を測定できる	済	未
		呼吸法(口すぼめ呼吸)の指導ができる	済	未
		コンディショニングを実施できる	済	未
		全身持久カトレーニングを実施できる	済	未
		筋カトレーニングを実施できる	済	未
	評価	呼吸筋トレーニングを実施できる	済	未
		ADLトレーニングを実施できる	済	未
		排痰法について説明できる	済	未
			済	未
			済	未

心大血管疾患を診る上で必要な知識

大項目	中項目		小項目	実施	日付	
基礎知識	循環器(心臓)の解剖		心臓の大きさ・位置・働きについて説明できる	済	未	
			体循環・肺循環について説明できる	済	未	
			大動脈の走行と分岐を説明できる	済	未	
			冠動脈の走行(AHAの冠動脈区域分類)を説明できる	済	未	
検査	心電図	正常波形	4つの弁について説明できる	済	未	
			刺激伝導系について説明できる	済	未	
			心電図のPQRSTの位置が説明できる	済	未	
			P波の意味を説明できる	済	未	
		QRS波の意味を説明できる	済	未		
		T波の意味を説明できる	済	未		
		sinus rhythm(洞調律)を説明できる	済	未		
		ST上昇の意味を説明できる	済	未		
		ST下降の意味を説明できる	済	未		
		モニター心電図の電極を装着できる	済	未		
		伝導ブロック	房室ブロックを説明できる	済	未	
			I 度房室ブロックを説明できる	済	未	
			II 度房室ブロックを説明できる	済	未	
			Wenckebach型(Mobitz I 型)を説明できる	済	未	
		不整脈	Mobitz II 型を説明できる	済	未	
			PACを説明できる	済	未	
			Afを説明できる	済	未	
			Afの危険性を説明できる	済	未	
			Parfを説明できる	済	未	
			AFLを説明できる	済	未	
			PVCを説明できる	済	未	
			Lownの分類を説明できる	済	未	
			R on T を説明できる	済	未	
			short runを説明できる	済	未	
		電解質異常	VTを説明できる	済	未	
			VFを説明できる	済	未	
	心臓カテーテル		高カリウム血症時の特徴的な心電図波形を説明できる	済	未	
			低カリウム血症時の特徴的な心電図波形を説明できる	済	未	
	心エコー		英語表記することができる	済	未	
			検査内容を説明することができる	済	未	
	各疾患	虚血性心疾患	狭心症 (AP)	TTEとTEEの違いを説明できる	済	未
				検査内容を説明することができる	済	未
英語表記することができる				済	未	
病態について説明できる				済	未	
心筋梗塞 (MI)			分類について説明できる	済	未	
			症状や臨床所見について説明できる	済	未	
			治療について説明できる	済	未	
			英語表記することができる	済	未	
			病態について説明できる	済	未	
			症状や臨床所見について説明できる	済	未	
			特徴的な血液データについて説明できる	済	未	
			心電図変化について説明できる	済	未	
梗塞部位と梗塞波形が出現する誘導、主な閉塞枝の関係について説明できる		済	未			
治療について説明できる		済	未			
弁膜症		僧帽弁狭窄症 (MS)	英語表記をすることができる	済	未	
			病態・症状について説明できる	済	未	
			画像所見について説明できる	済	未	
			治療について説明できる	済	未	
		僧帽弁閉鎖不全症 (MR)	英語表記をすることができる	済	未	
			病態・症状について説明できる	済	未	
			画像所見について説明できる	済	未	
			治療について説明できる	済	未	
		大動脈狭窄症 (AS)	英語表記をすることができる	済	未	
			病態・症状について説明できる	済	未	
			画像所見について説明できる	済	未	
			治療について説明できる	済	未	
大動脈閉鎖不全症 (AS)		英語表記をすることができる	済	未		
		病態・症状について説明できる	済	未		
		画像所見について説明できる	済	未		
		治療について説明できる	済	未		
動脈疾患		大動脈瘤 (AA)	英語表記することができる	済	未	
			病態について説明できる	済	未	
			画像所見を確認できる	済	未	
			分類について説明できる	済	未	
		大動脈解離 (AAD)	治療について説明できる	済	未	
			英語表記することができる	済	未	
			病態について説明できる	済	未	
			画像所見を確認できる	済	未	
			分類について説明できる	済	未	
		下肢閉塞性動脈硬化症 (ASO)	症状や臨床所見について説明できる	済	未	
			治療について説明できる	済	未	
			英語表記をすることができる	済	未	
病態について説明できる			済	未		
心不全 (CHF)			症状や臨床所見について説明できる	済	未	
			特徴的な血液データについて説明できる	済	未	
			治療について説明できる	済	未	
			英語表記をすることができる	済	未	
			病態について説明できる	済	未	
			画像所見を確認できる	済	未	
			症状や臨床所見について説明できる	済	未	
			治療について説明できる	済	未	
			英語表記をすることができる	済	未	
			病態について説明できる	済	未	
心筋症		拡張型心筋症 (DCM)	画像所見を確認できる	済	未	
			治療について説明できる	済	未	
			英語表記をすることができる	済	未	
			病態について説明することができる	済	未	
		肥大型心筋症 (HCM)	画像所見を確認できる	済	未	
			治療について説明できる	済	未	
感染性心内膜炎 (IE)		英語表記をすることができる	済	未		
		病態について説明できる	済	未		
		治療について説明できる	済	未		
リハビリテーション	評価	修正Borgスコアについて説明できる	済	未		
		6分間歩行試験(6MWT)について説明できる	済	未		
	運動療法	心肺運動負荷試験(OPX)について説明できる	済	未		
		運動療法の効果について説明することができる	済	未		
		レジスタンストレーニングについて説明することができる	済	未		
		有酸素運動について説明することができる	済	未		

がん疾患を診る上で必要な知識

大項目	中項目	小項目	実施	日付
白血球系疾患	急性骨髄系白血病(AML)	急性骨髄系白血病(AML)の原因について説明できる。	済	未
		急性骨髄系白血病(AML)の症状について説明できる。	済	未
		急性骨髄系白血病(AML)に対する治療スケジュールを説明できる。	済	未
		急性骨髄系白血病(AML)に対する寛解導入療法を説明できる。	済	未
		急性骨髄系白血病(AML)に対する固形療法を説明できる。	済	未
		急性骨髄系白血病(AML)患者に対するリハプログラムを説明できる。	済	未
		慢性骨髄性白血病(CML)の原因について説明できる。	済	未
		慢性骨髄性白血病(CML)の症状について説明できる。	済	未
		急性リンパ性白血病(ALL)の原因について説明できる。	済	未
		急性リンパ性白血病(ALL)の症状について説明できる。	済	未
		慢性リンパ性白血病(CLL)の原因について説明できる。	済	未
		慢性リンパ性白血病(CLL)の症状について説明できる。	済	未
	成人T細胞白血病(ATL)	成人T細胞白血病(ATL)の原因について説明できる。	済	未
		成人T細胞白血病(ATL)の症状について説明できる。	済	未
		悪性リンパ腫(ML)の原因について説明できる。	済	未
		悪性リンパ腫(ML)の症状について説明できる。	済	未
		悪性リンパ腫(ML)のWHO分類について説明できる。	済	未
		ホジキンリンパ腫について説明できる。	済	未
	多発性骨髄腫(MM)	非ホジキンリンパ腫について説明できる。	済	未
		びまん性大細胞Bリンパ腫について説明できる。	済	未
		R-CHOP療法について説明できる。	済	未
		R-CHOP療法患者に対するリハプログラムを説明できる。	済	未
		多発性骨髄腫(MM)の原因について説明できる。	済	未
		多発性骨髄腫(MM)の症状について説明できる。	済	未
		多発性骨髄腫(MM)の合併症について説明できる。	済	未
		造血幹細胞移植(自家移植)について説明できる。	済	未
		造血幹細胞移植(同種移植)について説明できる。	済	未
		同種移植入院のスケジュールについて説明できる。	済	未
		造血幹細胞移植患者に対するリハプログラムを説明できる。	済	未
		造血幹細胞移植患者に対するリハプログラムを説明できる。	済	未
赤血球系疾患	鉄欠乏性貧血	鉄欠乏性貧血の原因について説明できる。	済	未
		鉄欠乏性貧血の症状について説明できる。	済	未
		鉄欠乏性貧血の症状について説明できる。	済	未
	溶血性貧血(AHAなど)	溶血性貧血(AHAなど)の原因について説明できる。	済	未
		溶血性貧血(AHAなど)の症状について説明できる。	済	未
	ヘモグロビン異常(サラセミアなど)	ヘモグロビン異常(サラセミアなど)の原因について説明できる。	済	未
血小板系疾患	突発性血小板減少性紫斑病(ITP)	ヘモグロビン異常(サラセミアなど)の症状について説明できる。	済	未
		突発性血小板減少性紫斑病(ITP)の原因について説明できる。	済	未
		突発性血小板減少性紫斑病(ITP)の症状について説明できる。	済	未
	von Willebrand病	突発性血小板減少性紫斑病(ITP)の原因について説明できる。	済	未
		von Willebrand病の原因について説明できる。	済	未
	血小板無力症	von Willebrand病の症状について説明できる。	済	未
造血細胞の異常	Bernard Soulier病	血小板無力症の原因について説明できる。	済	未
		血小板無力症の症状について説明できる。	済	未
		Bernard Soulier病の原因について説明できる。	済	未
	骨髄異形成症候群	Bernard Soulier病の症状について説明できる。	済	未
		骨髄異形成症候群の原因について説明できる。	済	未
		骨髄異形成症候群の症状について説明できる。	済	未
がんの治療	再生不良性貧血	再生不良性貧血の原因について説明できる。	済	未
		再生不良性貧血の症状について説明できる。	済	未
		再生不良性貧血の症状について説明できる。	済	未
	手術療法	手術療法の目的を説明できる。	済	未
		手術療法の目的を説明できる。	済	未
		手術療法の目的を説明できる。	済	未
がんの治療	開胸・開腹術のリハビリテーション	開胸・開腹術のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		開胸・開腹術のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		開胸・開腹術のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
	骨・軟部組織のリハビリテーション	開胸・開腹術のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		開胸・開腹術のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		開胸・開腹術のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
がんの治療	乳がん周術期のリハビリテーション	乳がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		乳がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		乳がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
	頭頸部がん周術期のリハビリテーション	乳がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		乳がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		乳がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
がんの治療	食道がん周術期のリハビリテーション	頭頸部がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		頭頸部がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		頭頸部がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
	肺がん周術期のリハビリテーション	頭頸部がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		頭頸部がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		頭頸部がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
がんの治療	胃がん周術期のリハビリテーション	食道がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		食道がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		食道がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
	肝臓がん周術期のリハビリテーション	食道がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		食道がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		食道がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
がんの治療	大腸がん周術期のリハビリテーション	肝臓がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		肝臓がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		肝臓がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
	化学療法	肝臓がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		肝臓がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		肝臓がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
がんの治療	放射線療法	大腸がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		大腸がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
		大腸がん周術期のリハビリテーションの目的を説明できる。	済	未
	脳腫瘍周術期のリハビリテーション	放射線療法の目的を説明できる。	済	未
		放射線療法の目的を説明できる。	済	未
		放射線療法の目的を説明できる。	済	未

廃用症候群を診る上で必要な知識

大項目	中項目	小項目	実施	日付
基礎知識	廃用症候群の基礎	筋骨格系の廃用症候群を挙げ、機能低下を来す機序を説明できる	済	未
		呼吸器系の廃用症候群を挙げ、機能低下を来す機序を説明できる	済	未
		心血管系の廃用症候群を挙げ、機能低下を来す機序を説明できる	済	未
		尿路系の廃用症候群を挙げ、機能低下を来す機序を説明できる	済	未
		神経・精神・心理系の廃用症候群を挙げ、機能低下を来す機序を説明できる	済	未
		消化器系の廃用症候群を挙げ、機能低下を来す機序を説明できる	済	未
ショック	循環3要素 血液分布異常性ショック(distributive shock)	皮膚系の廃用症候群を挙げ、機能低下を来す機序を説明できる	済	未
		ショック後の生体代償機能、それに伴う臨床症状を理解している	済	未
	循環血流量減少性ショック(hypovolemic shock)	敗血症性ショック(septic shock)の機序を説明できる	済	未
		アナフィラキシーショックの機序を説明できる	済	未
		神経原性ショック(neurogenic shock)の機序を説明できる	済	未
		出血性ショック(hemorrhagic shock)の機序を説明できる	済	未
	ショックに関連する病態	経カテーテル的動脈塞栓術(Transcatheter Arterial Embolization: TAE)を説明できる	済	未
		全身性炎症反応症候群(SIRS)について説明できる	済	未
		多臓器不全(Multiple Organ Failure: MOF)について説明できる	済	未
		播種性血管内凝固症候群(DIC)について説明できる	済	未
感染症	尿路感染症(Urinary Tract Infection: UTI) カテーテル関連血流感染症(CRBSI) インプラント感染 CVポート感染 褥瘡感染 手術部位感染(surgical site infection: SSI)	UTIの病態について理解している	済	未
		CRBSIの病態について理解している	済	未
		インプラント感染症の病態について理解している	済	未
		CVポートの使用目的とその感染症の病態について理解している	済	未
		褥瘡感染症の病態について理解している	済	未
		SSIの病態について理解している	済	未
急性腎不全	腎盂腎炎 水腎症 尿路結石	腎機能低下により起こりうる臨床所見を挙げられる	済	未
		尿毒症について説明できる	済	未
		尿管ステントについて説明できる	済	未
急性肝不全	ネフローゼ症候群(慢性腎症) B型肝炎(HBV) C型肝炎(HCV) 肝硬変	人工腎臓(ウロストミー)について説明できる	済	未
		肝機能低下により起こりうる臨床所見を上げられる	済	未
		肝性脳症の発生機序と臨床所見について説明できる	済	未
急性肺炎		黄疽の発生機序について説明できる	済	未
		肺炎の発生機序と病態について説明できる	済	未
急性腹症	腹膜炎 消化管出血 腸閉塞(イレウス)	動注療法について説明できる	済	未
		腹膜炎に発生機序、原因について説明できる	済	未
		吐血・下血の違いと臨床所見、原因疾患について説明できる	済	未
		イレウスの臨床所見を挙げられる	済	未
		痙攣性イレウスについて説明できる	済	未
		閉塞性イレウスについて説明できる	済	未
	上部・下部消化管穿孔	絞扼性イレウスについて説明できる	済	未
		痙攣性イレウスについて説明できる	済	未
		術後癒着性イレウスについて説明できる	済	未
		イレウス管・大腸用ステント(コロレクタルチューブ)による腸管減圧について説明できる	済	未
		人工肛門(ストーマ)について分類(回腸・結腸、単孔式・双孔式)と特徴を説明できる	済	未
		Hartmann(ハルトマン)手術について説明できる	済	未
	非閉塞性腸管虚血症(NOMI) 上腸間膜動脈(SMA)閉塞症 鼠径ヘルニア	Miles(マイルズ)手術について説明できる	済	未
		NOMIの病態と臨床症状について説明できる	済	未
		SMA閉塞症の病態と臨床症状について説明できる	済	未
		鼠径ヘルニアの病態と臨床症状、手術について説明できる	済	未
	食道	食道静脈瘤破裂(esophageal varix)	済	未
		肝硬変による門脈圧亢進症状を理解している	済	未
		内視鏡的食道静脈瘤結紮術(Endoscopic Variceal ligation: EVL)について説明できる	済	未
		内視鏡的食道静脈硬化療法(Endoscopic Injection Sclerotherapy: EIS)について説明できる	済	未
		食道穿孔による縦隔炎を理解している	済	未
		食道穿孔	済	未
急性胆管炎 その他	閉塞性胆管炎	閉塞性胆管炎の病態について説明できる	済	未
		CPA(cardio pulmonary accident)蘇生後	済	未
		蘇生後低酸素脳症について説明できる	済	未
	精神疾患	脳低体温療法の適応と作用機序について説明できる	済	未
		神経学的予後評価項目であるNSE/SSEP/頭部CT所見に関して理解している	済	未
		うつ病、統合失調症、神経原性食思不振症について説明できる	済	未
	急性薬物中毒	VZP、リチウム中毒、VPA	済	未
		VZP、リチウム中毒、VPA	済	未
		VZP、リチウム中毒、VPA	済	未
	悪性症候群	悪性症候群の病態について説明できる	済	未
		悪性症候群の病態について説明できる	済	未
		悪性症候群の病態について説明できる	済	未
	横紋筋融解症	横紋筋融解症の病態と臨床症状について説明できる	済	未
		横紋筋融解症の病態と臨床症状について説明できる	済	未
		横紋筋融解症の病態と臨床症状について説明できる	済	未
	糖尿病	糖尿病性ケトアシドーシス(Diabetic Ketoacidosis: DKA)の病態・臨床症状・治療を説明できる	済	未
		高浸透圧高血糖症候群(Hyperosmolar Hyperglycemic Syndrome: HHS)の病態・臨床症状・治療を説明できる	済	未
		高浸透圧高血糖症候群(Hyperosmolar Hyperglycemic Syndrome: HHS)の病態・臨床症状・治療を説明できる	済	未
	電解質異常	高K血症・低K血症の主な臨床症状を説明できる	済	未
		高Na血症・低Na血症の主な臨床症状を説明できる	済	未
		高Na血症・低Na血症の主な臨床症状を説明できる	済	未
	気道熱傷	気道熱傷時における治療や呼吸管理において注意すべきポイントを理解している	済	未
		気道熱傷時における治療や呼吸管理において注意すべきポイントを理解している	済	未
	腹部刺創	腹部刺創に伴う、肝損傷・脾損傷・腸管損傷・心タンポナーデに対する治療に関して理解している	済	未
		腹部刺創に伴う、肝損傷・脾損傷・腸管損傷・心タンポナーデに対する治療に関して理解している	済	未